

山梨県地質調査事業協同組合

ACTIVE KUMIAI

安全なくして技術の向上なし



「安全の誓い」を受ける萩原理事長(左)

11月14日、山梨県地質調査事業協同組合萩原利理理事長(左)は山梨県人材開発センターで安全大会を開催、組合員企業から経営者や技術者など60人あまりが出席した。

安全大会では、今年6～9月にかけて組合員の工事現場四ヶ所で行った安全パトロールの結果報告が行われ、従業員の代表による「安全の誓い」が宣言された。

この安全パトロールと安全大会は今年で4年目。組合員同士がお互いの工事現場を巡回し安全衛生について相互に指導し合うことで組合全体の安全のレベルアップを図ることを目的に実施されている。またあわせて、県内の地質調査業界の技術力向上のためには、技術講習会なども毎年開催しており、本年度は9月12日には、森林環境 地滑り等に関する取り組みと課題」をテーマに、開催された。

萩原理事長は、「地質調査業界はボーリング技術だけでなく技術士や地質調査技士などの専門の技術や資格も必要となっている。組合員企業の専門資格者を増やし技術力アップ

すること、県外の大手コンサルタント会社に流れている県内の土木工事の調査建設コンサル業務を受注できるような体制を作っていきたい。安全なくして技術の向上なし」のスピーチの口もと、今後も組合事業として技術や安全に対するレベルアップに取り組んでいきたい」と語った。



安全パトロールを行う組合員